

## 校章と校歌の制定



以上のことをふまえ、数多く提出されたデザインの良いところを指摘採択しあい合成結合させ決定をみた。尚、何回もの合成結合の段階で、中心的な労を頂いた永井真知子・荒木千賀子両教諭の尽力を併せて報告したい。

### 校歌制定の経過

昭和五十三年 四月・五月

○ 職員の間から、校歌の案が提議された。

昭和五十三年 八月

○ 校歌の原案を作成

○ 原案を増田教育長をはじめ諸先生方のご指導により、補作することに決定。

昭和五十三年 十月三日

○ 伊藤晃先生に補作依頼

昭和五十三年 十月二十一日

一番Ⅱ学校・学区の様子と開校のよろこび。  
二番Ⅱ郷土の歴史とめざす理想の学校の姿。  
三番Ⅱ流山の大地に根ざした子どもの姿。  
を歌いこんで補作完了。

昭和五十三年 十一月六日

○ 桑原研郎先生により作曲完了

昭和五十三年 十一月十二日

○ 校内発表会を実施

### 校章制定の経過

昭和五十三年 六月

○ 職員の間には校章の制定の気運が出て、その高まりが見られる。

昭和五十三年 七月

○ 校長・教頭・永井・荒木両教諭等から創意とアイディアの溢れた校章のデザインが多く出された。

その間にいくつか論議され、

① 流山市の提唱している緑と水と太陽を盛り込みたい。

② 市の木であるつげをあらわしたい。

③ 緑豊かな郷土の姿もあらわしたい。

④ 小山小を象徴する様な形を工夫したい。